



ザンビアの経済概況・月報(2018年12月)

主なマクロ経済指標	2017年	2018年
1. 人口 (百万人)	16.59(2016)	-
2. 人口増加率 (%)	3.00(2016)	-
3. 失業率 (%)	41.2	41.2(2017)
4. 平均寿命 (年齢)	51.1(男性)/54.4(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,064(2016)	-
6. GDP成長率 (%)	4.2(proj)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,360(2016)	-
8. インフレ率 (%)	6.1(Dec)	7.9(Dec)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	201.18(Dec)	216.99(Dec)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-568.3	-1,529.83*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	128.58*4	98.2*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	8,150.1	8,338.79*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	179.54*4	150.45*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	8,718.4	9,868.61*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	50.96*4	52.25*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932(2016)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	37 (2016)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	469(2016)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,430(Dec)	1,629(Sept)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,900(Dec)	9,510 (Sept)
21. 為替レート (対米ドル)	9.53ZMW	11.91ZMW (Dec)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	10.25 (Dec)	9.75 (Nov)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2018年1月から11月までの貿易額。1USD=10.32ZMW (2018年11月までのザンビア中央銀行為替相場月平均)を用いて換算
*3 2018年1月から11月までの貿易額。1USD=110円 (2018年11月までの日銀基準外国為替相場月平均)を用いて換算
<2018年11月>
主要輸出品目: 電解精錬用の銅陽極/精製銅陰極/エレクトロウオン銅陰極/粗銅/金銀塊(半製品)
主要貿易相手国(輸出): スイス 42.7%, シンガポール 12.1%, コンゴ(民) 12.1%, 中国 11.7%, 南ア 4.5%, その他 16.9%
主要輸入品目: 銅精鉱/ミネラル肥料及び化学肥料/軽油/内燃機関用燃料/薬品/硫黄
主要貿易相手国(輸入): 南ア 33.3%, 中国 12.1%, コンゴ(民) 11.6%, アラブ首長国連邦 8.7%, インド 4.5%, その他 29.7%
*4 1USD=112円 (2017年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2017 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21: Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21, 22: Bank of Zambia

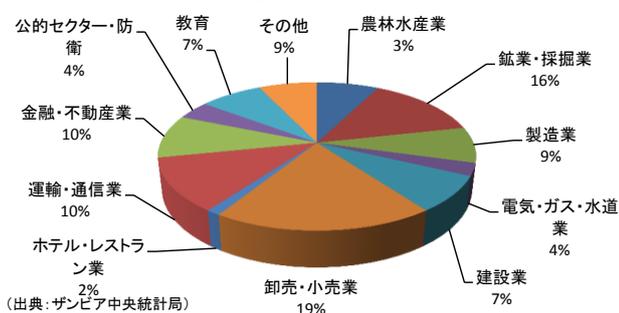
<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6% (ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎に、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成(2018年第1-第3四半期)



主要な経済ニュース(12月)

1. JICA, ザンビアによる400の橋の維持管理を支援(Daily Nation, 4日 & Times of Zambia, 5日)

政府とJICAは、国内の400以上の橋の維持管理に係る技術協力プロジェクト「橋梁維持管理能力向上プロジェクト フェーズ II」関連文書に署名した。ムショタ・インフラ開発次官は、昨年終了したフェーズ I の成功を受けて、両者はプロジェクトの継続を決定したと述べた。また、同次官は、本プロジェクトは既存の橋と建設中の橋の両方を対象とする発言した。

2. 政府, 11月に48億クワチャを支出(Daily Mail, 11日)

政府は先月、選挙区開発基金(CDF)を含む公共サービスの実施に対して、48億クワチャを支出した。ムワナカトウエ財務大臣は、48億クワチャの内、対外及び国内債務返済に9億4千3百万クワチャが充てられたと述べた。また、同大臣は、様々な機関への補助金として9億4千万クワチャ、政府事業、計画及び一般事業に10億クワチャ、公共サービス実施にかかる賃金支払に19億クワチャがそれぞれ支出されたと発言した。さらに、全ての選挙区における地域内の事業支援に対し、1億6千9百万クワチャが費やされた。

3. ザンビア商工会議所(ZACCI), 成長戦略を促進(Daily Nation, 17日)

ザンビア商工会議所(ZACCI)は、国家開発計画における民間企業間の対話を強化することにより、より良いビジネス環境を推奨していくと述べた。ニレンダZACCI所長は、ビジネスがより効果的であることを確保するため、引き続き政府及びその他関係者と連携していくと述べた。また、同所長は、ビジネスにかかるコストは依然として高く、同会議所は、ビジネスコミュニティに影響を及ぼしている数々の重大問題に関して政府と取り組んできたこと述べた。

4. 銅価格, 3ヶ月連続で下落(Daily Mail, 20日)

ザンビアの主要収入源である銅の価格は、弱い世界成長が銅の需要を低下させるとの懸念から、3ヶ月連続で下落した。1トンあたり6,100米ドルをさまよった後、ロンドン金属取引所(LME)における銅価格は落ち込み、世界成長の不振及びインドの大規模製錬所の再開により供給が増加するというニュースにより、現在は1トンあたり5,970米ドルで取引されている。

5. 日本の対ザンビア投資は約4千4百万米ドルに上る(Daily Mail, 21日)

現在の日本の対ザンビア直接投資額は、約4千4百万米ドルに上り、ザンビアから日本への輸出の97%を銅及び関連商品が占めている。また、ザンビアの日本からの輸入の85%を車両が占めている。ルング大統領は、日ザンビア・ビジネスフォーラム2018において、政府は投資環境を整えており、日本からの投資を誘致するための政策及び改革を実施していると述べた。また、ルング大統領は、有益なビジネス環境創出のために、政府は海外直接投資の誘致と地域投資活性化のための重要戦略として、インフラ開発を優先していると述べた。

6. 輸出をアジアが占める(Daily Mail, 26日)

アジアは、2018年上半年期におけるザンビアの輸出市場の大部分を占めている。商業貿易産業省による第1四半期及び第2四半期の統計報告によると、総輸出額の300億クワチャの内、アジアへの輸出は128億クワチャ以上に上った。アジアの中でも中国が全体の45.9%を占める主要な輸出市場であり、その他の輸出先として、シンガポール、アラブ首長国連邦、香港及び日本が挙げられる。

7. 日本, 700万クワチャを配分(Daily Mail, 28日)

日本は、ザンビア国内の農業普及サービスを支援するために700万クワチャ以上を割り当てた。2KR見返り資金の合計7,466,522クワチャにより、農業省が6台の自転車及び150台のバイクを調達することを通して、国家農業普及サービス支援戦略の実施が可能となる。2KRは、貧困農民を支援するために財務省を通じて運用されている日本政府によるプロジェクト資金援助である。